



貧しい人々を救うゴミ分別

リサイクルゲーム

高松 誠矢 (高校2年生：京都府)

僕が考えたゲームは貧しい人々を救うゴミ分別リサイクルゲームです。今世界では沢山の国々があるが、中にはとても貧しく満足に生活できていない人が多くいて、それを自分達がゴミを分別しリサイクルすることにより貧しい人々を救う、という2つの社会問題を同時に解決するという内容のゲームです。

ルールは自分に見立てた人間のアバターの生活をプレイしていきますが、その人間が生活している中で排出されるゴミやいらなくなった物がゲームのカギとなっていきます。

3つのステージに分かれ、第1ステージは、ゴミ分別ゲームです。生活の中で排出されたゴミがベルトコンベアーに流れてきて、それを素早い判断と反応でプラごみ燃えるゴミ衣類などと様々なゴミ箱に分別していき、第1ステージは終了です。

次に第2ステージは、リサイクルゲームです。第1ステージで分別したゴミを繋ぎ合わせ別のものにリサイクルしていきます。しかし、第1ステージでゴミの分別がきちんとできていないと上手くリサイクルできず、ゴミを別の物に変えられないのでリサイクル失敗となります。分別がしっかりとできリサイクルできれば、リサイクル成功となり第3ステージに続きます。

第3ステージは、リサイクルしてできた衣服や生活用品などを貧しい村に送り届けます。すると貧しかった村はどんどん大きく成長し、発展していきます。リサイクルできた物が多ければ多いほど、村の人々に需要が高い物ほどより村は発展していきます。これで第3ステージは終了しました。

始めに戻りゴミを排出する所から再スタートし、貧しい村を徐々に大きくさせることによって村を救い、自分だけの村を築き上げていくというゲームです。

このゲームでリサイクルすることによって、リサイクルすることが大事なことだと感じて欲しい。それと同時に、この世界には貧しい人々が今でも苦しみながら生活しているという現状を知って欲しい。なので、このゲームで実際にある貧しい人々や村を救うきっかけになって欲しいです。